

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスよよぎ松山校				公表日	R7年12月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		運動するスペースと座って活動するスペースに分けたり、マットを色で分けることで区別している。必要に応じて個室での療育も行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		基準以上の配置を行っています。集団支援・個別支援の双方に対応できる体制が整っている。	個別対応が必要な際に人手不足を感じることもある。継続した人員配置を行う。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	各部屋の用途に合わせて環境を整えている。子どもが活動内容を理解しやすいように空間が明確に構造化されており、特性に応じた環境上の配慮も適切に行われている。	必要に応じて検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	掃除や整理整頓など日々欠かさず取り組んでいる。掃除チェックシートをつけることで、どこが掃除できていないか分かるようにしている。	今後も継続し、快適に過ごせる空間づくりを行う。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		児童によってクールダウンする時の場所の確保や集中できる環境づくりとして面談室や簡易テントを使用している。	常に環境の見直しや個別必要に応じて子どもが落ち着いて利用できる環境づくりを行う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	月に一回児発管が中心となりモニタリング会議を開いている。児童の様子を共有したり振り返りを行っている。	全職員が目標設定や振り返りに参画できるよう体制を整えていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表アンケートを実施し、改善すべき点について話し合う時間を作っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	それぞれの職員が業務を行う上で改善したいことがあれば職員間で会議し改善に努めています。	今後も継続して意見を取り入れながら、より良い運営につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	第三者委員会を設置しているが、外部評価を実施したことはまだない。	今後必要に応じて行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		事業所内研修を定期的に実施し、また外部の研修にも積極的に参加している。	今後も継続し、職員の資質向上につなげていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	5領域に分けた支援プログラムを作成し、ホームページへ掲載している。	定期的に内容を見直し、より分かりやすい情報提供に努める。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1	保護者と定期的に面談を行い、ニーズや課題を把握するとともに、他事業所や相談支援事業所とも連携しながらアセスメントを実施しています。様々な関係機関からの意見を取り入れて個別支援計画を作成している。	今後も引き続き関係機関との連携を図り、適切な支援計画の作成に努めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2	定期的にモニタリング会議を開き、職員同士で情報交換を行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2	子ども一人ひとりに合わせて目標を設定し、5領域に沿った支援を行っている。また、振り返りもする時間を作っている。	今後も計画の内容を職員全体で確認しながら、より丁寧な支援の提供に努めていく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	アセスメント表を使用し、状況の確認を行っている。支援記録を作成したり、アセスメントも実施している。	引き続アセスメントを実施し、個々の子どもに応じた適切な支援に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」の各項目と具体的な支援内容を適切に設定し、個別支援計画書に記載している。	学校や他事業所とも連携し、今後も継続して行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		職員間で活動内容を話し合いながら1か月分の活動スケジュールを作成している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		工作やクッキング、戸外活動の中に季節のイベントや子どもの興味に合わせた内容を取り入れながら実施している。	今後も多様な活動を継続して企画し、より楽しく意欲的に参加できる環境づくりに努めていく。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	子どもの特性に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立て、支援を実施している。	今後も一人ひとりの様子を丁寧に把握しながら、意欲的に参加できるよう活動の組み合わせを工夫していく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日個別に注意すべき点や確認事項、支援内容について話し合う時間をつづっている	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	支援終了後は支援記録を記入している。支援の振り返りを行い、情報共有している。	職員が全員集まることが難しいため、翌日の朝礼時に情報共有している。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		なるべくその日のうちに支援経過を記入できるよう努めている 支援内容に関して会議で話し合い、改善につなげている	今後も継続して記録をとり、より適切な支援につなげていく。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年に一度モニタリング会議を行い、子どもの様子や支援内容を振り返り、個別支援計画書の見直しを行っている。	今後も見直しを行い、適切な支援計画の作成に努めていく。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10		基本活動を基に様々な活動プログラムを取り入れ、適切な支援を行っている。	今後も子どもの状況に合わせて活動内容を工夫していく。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		自由活動や集団活動に場において自分の意見を伝えたり、自己決定をする力を養えるよう支援している。	選択肢の提示や声掛けを工夫し、自主性を高められるよう努める。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		主に児童発達支援管理責任者や担当指導員が会議に参画している。	日程調整を行い、積極的に参加できるよう努める。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		学校や他事業所、相談支援専門員と情報共有を行い、連携を図っている。	今後も必要に応じてしていく。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		保護者や学校から下校時刻に関する書類をいただいたり、totoruを活用し情報確認を行っている。変更があれば迅速に対応している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		保護者や児童発達支援事業所からの情報を頂いている。	今後も連携を継続し、適切な支援に役立てていく。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		特性や様子を踏まえた書類を作成し、いつでも提供できるよう準備を整えている。	今後もスムーズな移行が図れるよう、丁寧な情報共有に努めていく。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	研修に参加し、他事業所との交流を行っている。 必要に応じて対応や支援について助言を受けている。	今後も連携を深め、職員の支援の質の向上に努めていく。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	5	公園や施設など外出先で地域の子どもと一緒に過ごすこともある。	積極的に交流の場を広げ、地域とのつながりを深めていく。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		協議会には児発管や児童指導員が参加し、他事業所と情報共有を行っている。	今後も積極的に参加を継続し、支援の質向上に努めていく。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	面談や送迎時に様子を伝えるようにしている。また、オフィシャルラインや支援経過にて情報共有している。	家庭によって保護者との連絡の偏りがあるため改善していきたい。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	親子イベントの開催や外部研修の案内を行っている。	今後も情報提供を行っていく。
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約や面談時に書面を見ながら丁寧に説明を行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		利用者本人のニーズの聞き取りを行ったり、面談等で保護者のニーズを確認する機会を設けている。	今後も意向確認の機会を設けていく。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		更新時には面談を行い、個別支援計画書の内容を説明し同意、署名をいただいている。	今後もわかりやすい説明を心がけていく。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		電話やオフィシャルライン、面談時など相談を受けた際には適切に対応している。	今後も保護者に寄り添った支援を継続していく。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	親子イベントを実施し、保護者やきょうだい同士で交流する機会を設けている。	保護者だけでの交流会の実施ができていない。 ニーズがあれば、さらに交流の場を広げる活動も実施していきたいと考えています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情受付窓口を設置し、苦情があった際には迅速な対応を心掛けている。職員間で会議を行い、今後の対応や改善すべき点について話し合っている。	今後も丁寧な対応と改善に努めていく。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		インスタグラムで活動の様子を掲載している。 月ごとの活動予定表をオフィシャルラインにて配信している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		契約時に個人情報に関する同意書をいただくとともに、インスタグラムやホームページへの写真掲載に関する確認書を作成し、保護者より同意を得ている。	今後も個人情報保護を徹底し、安心して利用していただける環境づくりに努めていく。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	特性に応じて言葉の選び方や視覚的資料の活用などの工夫を行っている。 保護者とはラインやメール、電話にてやりとりを行い、確認を行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		実施がないため、検討及び導入していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		研修・実地訓練を行っており、HPにてマニュアルを掲載している。 インスタグラムに掲載することで周知を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		防災訓練や室内的安全点検を行っている。 災害時に備えた備蓄品も準備している。	今後も継続して体制の強化に努める。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		面談時など服薬に関して確認を行っている。 体調等の変化について保護者から連絡をいただくようにしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		事前にアレルギーの有無について確認している。 職員全体に周知し、クッキング活動の際には十分留意している。	継続して職員間での情報共有を徹底し、安全に配慮した支援を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		送迎マニュアルや事故防止マニュアルに関して年に1回見直しを行っている。また、研修や訓練を実施している。	今後も継続して安全管理を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		訓練の内容について支援経過に記録し周知している。	今後も継続して取組内容を周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有している。 原因を分析したり再発防止策について会議を行っている。	今後も継続して情報共有や改善を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止委員会を設置し、事業所内研修を行っている。	今後も継続して行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	個別支援計画書に記載している。 保護者にも説明し、了承を得ている。	今後も継続して行っていく。